

道異なら、感情など欲しくなかつた。

電動夏子安置システム×シアターグリーン
3劇場連動企画

#**檻の中**

にいるのは前の方

BASE THEATER

#**机上では有利**

BOX in BOX THEATER

#**隨分と線引きの甘い地**

BIG TREE THEATER



電動夏子安置システム
<http://dns-system.com>
info@dns-system.com

【ご挨拶】

ご来場誠にありがとうございます。

皆様方は今この文章をどの劇場の椅子に腰かけてご覧になっているのでしょうか。

シアターグリーンに初めてお世話になった2006年以来、3つの劇場が併設するこの建物全体を借り切って、1つの世界を生み出せたらさぞかし面白いだろうなと訪れる度に夢想してました。

そしてさぞかし大変なのだろうという面倒くささが常に勝り、夢物語のままにしておくつもりでした。が、ひょんなことから機会を頂いてしまった。

頂いてしまったからには、役者・スタッフの気力漲っているうちに実現させなければと。

決してもう若くはないが、若いうちにやっておかなければと。

あと数年もしたら階段の上り下りにも苦労するようになると。

いやそんな理由はともかく、劇場や池袋と言う場所、なによりお客様への恩返しのつもりで企画したお祭りです。

お祭りですから、本来であれば皆様方も一緒に劇場を駆け回って頂きたい所ですが、なかなかそうもいきません。

そこは演者にお任せください。

祭りっぽいエネルギーはお届けできる事でしょう。

では皆様、これから自分がご覧になる舞台上的の物語にご注目ください。

26人の出演者たちは舞台上にいない場合、あと2つのどちらかの舞台上にいることでしょう。

休む間もなく3本の物語を紡いでいるのです。そしてまた他での物語を背負って再登場するかもしれません。

26人の登場人物それぞれが1つの大きな世界を背負って繰り広げる群像劇を、想像力を広げてお楽しみください。

電動夏子安置システム

主宰 竹田哲士

本日はご来場、誠にありがとうございます。

楽しんで観て頂けると幸いです。

世の中には色々な人がいます。

それぞれの人がそれぞれに違った考えを持って生きています。

それが分かっているはずなのに、人はどこかで自分と同じ考え方を他の人達に求めたがる。

そうかと思えば自分は他の人達とは違うと思ったがる。

さあ自分とは一体誰が作り上げているのでしょうか。

自分自身でしょうか、それとも自分を見ている他人でしょうか。

そんなことを少し頭の中に残したまま、みなさんがお家へ帰って頂ければ嬉しいなと思ったりしています。

あ、どの作品もコメディですよ(笑)

と、「(笑)」を敢えて使ってみましたが、僕は普段、メールなどの文章に「(笑)」を付けないようにしています。

これを付けなくても、「冗談を言っています」、

「今僕は笑ってます」ということを文章だけで表現出来るように心がけているからです。

今回の作品作りにおいても「(笑)」のようなものを使わずに笑って頂けることを意識しました。

それを感じて頂けたらこれまた嬉しいわけです(笑)

(ちなみに「(笑)」は嫌いじゃないです)

中山 隼人

【用語解説】

BISKIA(ビスキア)

物語の舞台となる円形の城壁で囲まれた町。

町の中には国境の壁が建設され、東西に分断されている。

AL(エル)

人間に良く似た姿をし、人間に代わって様々な作業をこなす道具。

かつて人間に敵対し、人間社会に深刻なダメージを与えた事から、

忌まわしい存在と危険視されているが、もはや現存しておらず、歴史上の存在とされてきた。

空からの光

太陽と呼ばれていたものから降り注ぐ有害な光。この光を浴びた者は自我を失い、身体に変調をきたすとされる。

ウル

元々は「水」の意味。実際は燃料の一種で地下から採取される直方体の固形燃料を指す。

燃焼させる事で靄(もや)を生み出して、有害な空の光から住民達を守っている。

ERE(イーレ)

東の大國。ユースクと断続的な戦争状態にあったが、ビスキアを境に停戦する。町の東側を領土とする。

USQ(ユースク)

西の大國。イーレと断続的な戦争状態にあったが、ビスキアを境に停戦する。町の西側を領土とする。

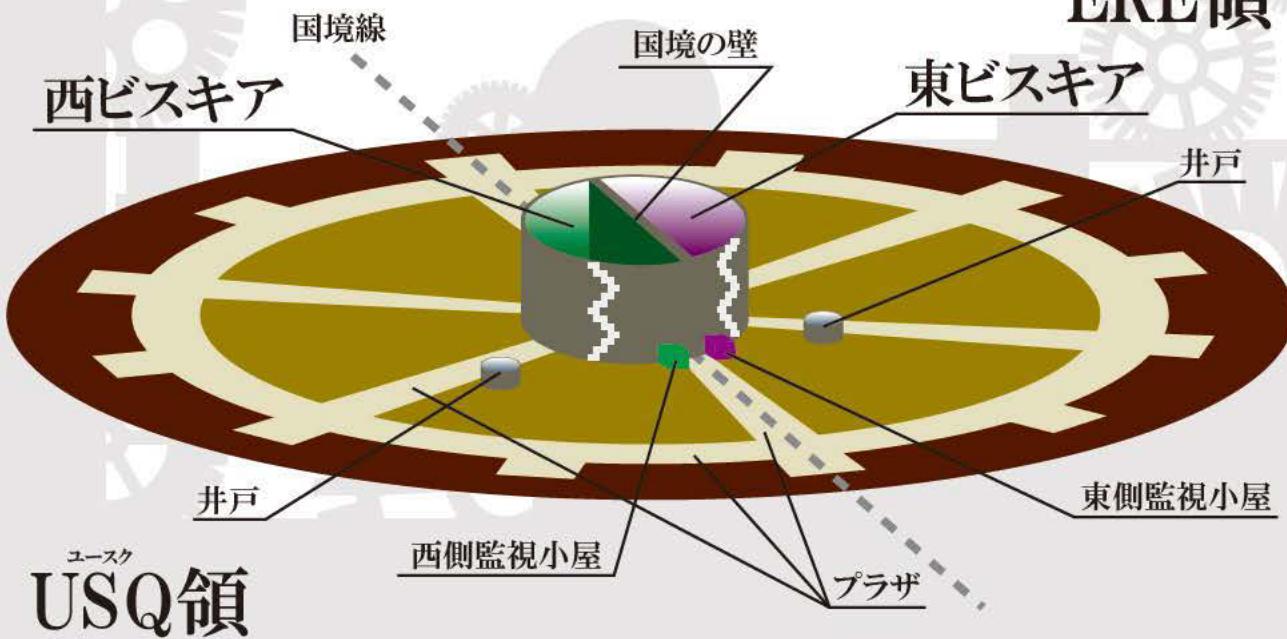
プラザ

東西の国境として町の外に定められた、ビスキアの外に延びる帶状の土地。プラザの上空は常に靄が薄く、空からの光が差し込みやすくなっている事から、住民たちは「呪われた土地」と恐れて足を踏み入れる事はない。結果としてそれが東西の国境としての役割を果たしている。

【BISKIA市概略図】

ビスキアを上空から見ると、
プラザと呼ばれる区画が町を中心に放射状に広がり、
その形状はさながら歯車のようである。

イーレ
ERE領

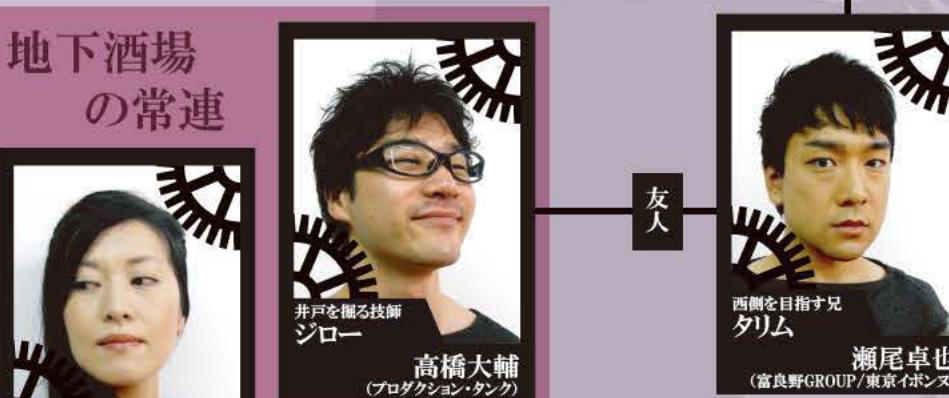


【登場人物相関図】

西ビスキア



東ビスキア



ERE国 ビスキア行政府



【脚本・構成】竹田哲士 【演出】中山隼人

【舞台監督】森山香緒梨 【舞台監督補】横川奈保子/加藤 唯 【舞台美術】坂本 遼

【照明】たなか一絵 【照明オペ】正傳 静/田中星乃 【音響】竹田 雄(Three Quarter) 【音響オペ】岡田 悠/許斐 祐

【映像オペ】古場田良子 【衣装】岸川康子 【小道具】電動夏子安置システム 【宣伝美術】岩田裕耳

【スチール撮影】佐藤淳一/渡邊 露 【映像撮影】渡邊 露/佐藤淳一/岡 俊輔 【WEB】竹田哲士

【制作協力】西村なおこ/伊藤静香/小野智美/保坂麻里恵 【制作】道井良樹/じょん

【企画製作】電動夏子安置システム

【協力】

アシカツ オフィススリーアイズ (株)ドルチェスター 劇団ビタミン大使「ABC」豪華!刺身盛り GOENPRO スターダス・21

Three Quarter 宝井プロジェクト CHANCE 東京イボンヌ 中村JAPANドラマティックカンパニー 箱庭円舞曲 フィルデジュール

フォセッット・コンシェルジュ 舞台美術研究工房 六尺堂 富良野GROUP プロダクション・タンク 明治大学演劇研究部 もさぐ人間

ユーキース・エンタテインメント (有)オンディーナ 篠 良太 小林知未 さかい蜜柑 佐藤春平 四條久美子 島貫聰

【後援】

シアタークリーン

【出演者の今後の活動】

■ 岩田裕耳

世田谷シルク

『美しいヒボリタ(再演)』

2014年3月

@吉祥寺シアター

■ 小館絵梨

ringoyaライブ

『Dazaiな調べ 2』

2013年12月18日～20日

@神楽坂「絵空箱」

<http://www.maroon.dti.ne.jp/ringoya/index.html>

■ 新野アコヤ

三谷幸喜「大空港2013」

90分ワンシーンワンカットドラマ

添乗員役で出演。

2013年12月29日(日)夜10時～

WOWOWプライム

*WOWOWに加入して下さい。

■ 濑尾卓也

富良野GROUP

『マロース』

2014年1月18日～3月中旬

@富良野演劇工場他、全国ツアー

<http://www.kuramotoso.jp/furano-group.php>

■ 関田剛志

IJ Heart project

『Ete Omnibus Thearter#36』

2013年10月30日

@egg-man tokyo east

Cooch旗揚げ公演

『推定容疑者 陽気な殺人鬼とローシュタインの回廊』

2014年4月中旬

@中野テアトルBONBON

■ 高田 淳

ラフメーカー Lot Num.009

『折神』

2013年12月3日～8日

@中野 劇場HOPE

X-QUEST

『ブラック西遊記』

2014年2月5日～2月16日

@王子小劇場

■ 林 佳代

劇26.25団 第13回公演

『タイトル未定』

2014年5月14日～18日

@下北沢駅前劇場

<http://25dan.com>

■ 道井良樹

企画・制作:FREE(S) / BRO.

『STAGE×12 vol.7』

2013年11月6日～9日

@赤坂GENKI劇場

<http://free-es.net>

「ポイズ」CM放映

■ 谷仲恵輔

劇団チョコレートケーキ 第23回公演

『治天ノ君』

2013年12月18日～23日

@下北沢駅前劇場

<http://www.geki-choco.com>

電動夏子安置システム 次回公演

TABACCHIプロデュース「サムライ」フェス参加

観客支持率NO.1を目指して

電動夏子安置システム 劇団チョコレートケーキ JACROW

の3団体が新作にて真剣勝負

【日時】2014年3月21日(金)～3月24日(月) 全6ステージ予定

【場所】スクエア荏原(目黒線武蔵小山駅徒歩10分)

【料金】3500円

【詳細】TABACCHI公式サイト <http://tabacchi.sub.jp>

【劇団員座談会】

10月某日・稽古場にて

参加者：道井良樹＝道、渡辺美弥子＝渡、
岩田裕耳＝岩、じょん＝じ、小原雄平＝小、
横島裕＝横、なしお成＝な
※若干のネタバレを含みますのでご注意ください。

第30回公演ですが――

道「今回30回目の本公演だっていうのは
皆さんご存知でした？」

渡「え！？ 30回なの！？」

岩「道井さんもさっき聞いた情報でしょ。知
らなかつたんでしょ。」

道「(笑)。まったくね、気づいてなかつたの
よ。」

岩「ボクは新参者ですけど(第19回本公演
より劇団員)どうなの？ 古参のメンバー
は？」

道「30回って言ってもさ、番外公演とかジ
オーネ(コント公演)含めたら60回くらい
いつてるんじゃない？」

じ「一番出てるのは？ ベル(小原)さんでし
ょ。」

小「そだよ。」

道「一番だよね。」

小「出るしか！ ない。。。から。。。」

道「(笑)」

渡「道井さんは？ どうなの？」

じ「この人(道井)、旗揚げ公演いないから
.」

岩「でもそれだけでしょ。どうなの30回目？」

道「。。。。。。。」

岩「え！ ？ 終わり？ 何かないの？？」

道「いやいやいやいや(笑)。30回目と言
われてもまだピンと来なくて。」

渡「30回って多いのか少ないのかよく分か
らないよね。」

横「20回目の時は何かあったんですか？」

渡「20回。。。覚えてないな。」

横「(笑)」

岩「10周年の時は記念公演があった。」

道「20回目って何？ パフォーマンス？」

じ「それは25回目ですね。」

岩「俺が入った時が19回目(笑う通訳・初
演)だったんだよね。」

道「20回目って何？」

岩「20回目は特別何もしてなかつたか。」

じ「あれだよ。3カ月連続公演。」

道「どういうわけか節目にこういうのが来る
ねー。」

じ「シュサイ(竹田)は分かっててこういうの
にしてるんでしょ、きっと。」

道「。。。さっきの発言はカットで(笑)。」

...今回は前回(また悪だくみをしている
のね)・前々回(君には頭がさがる)とティ
ストが結構違うと思うのね。」

小「違いますねー。」

岩「戻った感じもするよね。」

渡「いつに？」

岩「2,3年くらい前？ パフォーマンとかジエ
ノルマをやってた頃。」

小「俺はね、立ち上げてから5年目くらいま

での感じ。」

渡「ルールとか無い頃？」

道「テイストがね、あの頃な。あのさ、「月と
真珠」(第4回公演)に似てますよね？」

小「そうそう。」

渡「へえ――――――――――――――――――――

道「もんち(横島)はどうです？ 今回？？」

横「僕は今回みたいな世界観のほうが好
きですね。」

一問「へえ――――――――――――――――――

小「今回は活き活きとやつてる(笑)。」

横「いやいや！！ 今までちゃんと活き活
きてましたから！！！」

渡「いつもよりストーリー性があるってことだ
？」

横「現実の世界観じゃない感じっていうか
.」

渡「ファンタジー？」

横「そう。ファンタジーが好きなのね。俺。」

一問「！！！」

岩「え？ もんち、ファンタジー？？」

道「ファンタジー好きなのー？？？」

横「大好きですよ。」

道「え？ そうなの？ そうなの？ ？？？」

横「あんで電夏に入ろうと思ったの？」

横「パフォーマン(第5・9・13・21・23・25回公
演)が好きだったんですよ。」

小「ま、ファンタジーだね。」

道「でも今回のとパフォーマンを比べるとこ
れはまた違うよね？」

小「今回のほうがメッセージ性が。」

道「そうだね。そして今までにない規模の
公演だね。」

岩「よく考えたらさ、ウチってさ(シアターグ
リーン)ビッグツリーの単独公演やつたこ
とにのに。大風呂敷広げたよね。」

渡「初めてのビッグツリー。」

岩「なのに3劇場とも借りちやつたっていう。」

じ「(竹田)哲士が言つてしまつたからね(グリ
ーンフェスティバル大賞受賞のインタ
ビューで『賞金を3劇場貸し切る為に
使つ』と発言)。」

道「あの時お酒入つてたからなー。」

岩「演劇界の怖いとこですよ。酔つて言つ
た約束が現実になる、っていう(笑)。」

配役について――

道「あの役やってみたかったとかあります
？」

小「ありますよ僕は。」

道「どの役？」

小「僕はね、あれだ。アイン(小原の役)だ
けはちょっと。。。」

一問「(笑)」

岩「小原さん、そういう発言多いよね(笑)。」

じ「分かるんだろうね、台本読んでみて、
自分はこの役かなつてのが。」

道「なるほどね。」

じ「某他団体みたいに1公演だけ役シャツ
フル公演やればいいんだよ(笑)。」

岩「やってみたいねー。完全に二番煎じだ

けどね。」

道「こんだけ段取り多いと無理だよ――――

――――――――――――――――――――――――

岩「そのうちやろ、そのうち。」

道「小原さんはどの役やってみたかった？」

小「ジローかセナイね。」

一問「あ――――――――――――――――――

なづく。」

岩「セナイは想像つくけどジローが。」

横「俺もジローやってみたかったですね。」

道「ジロー人気だねー。ユージさんは？」

岩「うーん。。。。。コバル。いいなあ。(片
桐)俊ちゃん、いいなあー。」

渡「シュサイ(竹田)はほとんど役者にあて
て台本書いてるから、ウチらはなんとな
く分かるよね。」

道「なしあサンは？」

な「そうだねえー。。。ランとかミドとか。」

岩「ミドの代役やってる時、楽しそうだつ
たよね。」

な「この歳でこういキャラだとさ、誰かの
下にいる身分の役ってだけで楽しくな
っちゃう(笑)。あと思慮深い人。巻き込
まれるんじゃなくて巻き込む側の人間
を電夏でいつかは演じてみたいとい
うのはありますけどね。」

じ「この発言聞いたら、シュサイが次の公
演に使うんじゃない(笑)。」

岩「道井さんは自分はバターだらうなって
思ったでしょ？」

道「トレナンドローって思ったよ。」

一問「(笑)。嘘だ！！」

終わりに――

道「そろそろ締めますか。」

岩「見所はどこですか？」

道「そうね。。。3つともね。。。面白いっす
わ。」

じ「薄い。薄すぎるー。」

渡「いやでも、道井さんが大真面目に『面
白い』っていうの初めて聞いた。」

岩「でも道井さん、どの劇場がどの脚本だ
か分かってないでしょ？」

道「これからちゃんと読みますから(※10/11
の発言です)。」

岩「(笑)じゃあ、もんち締めなよ。」

横「。。。みんな見に来てね。。。」

一問「この対談、見に来た人しか読めない
から！ 見に來てるの前提だから(笑)！
！」



※本文とは一切関係ありません。

